

年表の続きは博物館本館の展示でチェック！

ベリールが徳川幕府に
ホルル小銃40挺を送る



片井京介が雷銃を用いる
傍装雷火銃を發明

(安永年間)

雷管を用いた管打式銃が日本に伝来
(弘化年間)

雷粉 雷水を用いた発火方式の研究が始まる

高島秋帆が洋式銃を本格的に輸入・運用開始



各地で地方色や砲術流派ごとに特徴ある火縄銃を製造

国友藤兵衛能當（貫通）が国産初の空気銃である気砲を完成（文政2年）



鎖国政策により銃器開発停滞

日本に鉄砲伝来



天文年間	江戸初期～中期	文政年間	天保年間	弘化年間	嘉永年間	安政年間
1820年 ナポレオン死去	1825年 異国船打払令	1830年 フランス7月革命	1837年 大塩平八郎の乱	1841～1843年 天保の改革	1853年 黒船来航	1854年 日米和親条約締結（開国）
		1836年 アラモの戦い	1839年～1842年 アヘン戦争	1846年～1848年 アメリカ・メキシコ戦争	1853年～1856年 クリミア戦争	1857年～1859年 インド大反乱（セポイの乱）

イギリスでミニエー弾を改良した
エンフィールド弾開發（1850年）



フランスでミニエー弾開發
(1846年)



針打式の紙製薬莖を用いる
後装式小銃
登場（1841年）

雷管を用いた管打式銃の研究・開発が各国で活発化
(1820～1830年代)



銃用雷管發明
(1800年代末～1820年代初期)

フリント・ロック
(火打石式)發明（17世紀初期）

特別展

戦国武将
ゆかりの
刀剣

豊臣秀吉と徳川家康

令和7年
1月11日（土）
～3月16日（日）

北館4階特別展示室

【開館時間】10時～17時（最終入館16時30分）
【休館日】月曜日（月曜祝日の場合、翌日火曜日）

豊臣秀吉と徳川家康は、どちらも有名な戦国武将です。
本展では、当館の収蔵品のなかから秀吉・家康それぞれに
ゆかりある刀剣を中心に展示いたします。
刀剣の伝来や武将のエピソードとともにお楽しみください。

【重要文化財】
太刀 銘 備州長船住景光 正和五年十月日

【重要文化財】
短刀 銘 備州長船住義正 平十一年五月日

特別展「戦国武将ゆかりの刀剣」を鑑賞
名古屋刀剣博物館鑑賞ツアー

名古屋駅発 開催日 2025 1.11（土）・12（日）

歴史探訪とホテル多度温泉に泊まる
1泊2日 食事：朝1回・昼1回・夕1回

株式会社東通トラベル
(052)243-8500

■詳しくはこちらをご覧ください。→



名古屋刀剣博物館
名古屋刀剣ワールド

〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄3丁目35番43号
TEL 052-262-6000 / FAX 052-262-6006